

江崎浩さん(33回生)から先日出版された本のご紹介です。

題名：「日本再生 最終勧告」原発即時ゼロで未来を拓く
著者：加藤 寛(かとう ひろし)
価格：1500+税
出版社：ビジネス社

この本は電力産業に関する加藤寛先生の提言です。

著者の加藤寛さんは歴代の自民党政権下で経済政策のブレーンを務め、旧国鉄の分割民営化などに取り組んだ経済学者。

ただ原発推進に関してはずっと疑問を感じておられ、福島第一原発事故直後から「原発即時ゼロ」の活動をされておりました。

(*) 今年1月に永眠され、これが遺作となりました。

江崎さんとの対談記事「今、何が求められているのか。未来志向で電力政策を考える」が25ページに亘って掲載されております。

この中で、

- 【将来は自家発電による自給自足が基本となり不足分を会社から買うようになる。】
- 【電力エネルギーは地熱・太陽光・風力等のさまざまな方法で発電したものを容易に使えるようにするという自律分散協調型になるべき。】とあります。

難しい内容ですが、これからの電力について興味をお持ちでしたら、ぜひ読んでみてください。

紹介リスト担当 吉武町子(24回生)